

第 1 回男鹿市地域公共交通活性化協議会会議録

日時：平成 23 年 7 月 21 日（木） 午後 2 時 30 分

場所：男鹿市役所 3 階第一会議室

出席委員 (26人)

1号委員 佐々木雅幸

3号委員 三浦巖

4号委員 糸井博 宇佐美義光 柴田澄世

鎌田栄光 山本次夫

5号委員 大高誠悦 石垣禮之輔 齊藤登

飯澤信夫 佐々木一義 石黒茂雄

高桑繁 大淵俊三 仲村盛吉

鎌田力

6号委員 佐藤巳次郎 蓬田信昭 木村一裕

7号委員 伊藤正孝 渡辺敏秀

代理出席 (4人) (委員名) (代理者)

2号委員 管生伝 山田敦史

4号委員 斉藤和夫 宇佐美義光

4号委員 中村和訓 平川誠一郎

4号委員 斎藤芳博 児玉了

欠席委員 なし

出席事務局職員

① 総務企画部長 佐藤 誠 一

② 総務企画課長 小 玉 一 克

③ 総務企画課課長補佐 吉 田 悟

④ 総務企画課主事 渡 部 繁 基

# 第 1 回 男鹿市地域公共交通活性化協議会総会

日時：平成 23 年 7 月 21 日 午後 2 時 30 分から

場所：男鹿市役所 3 階 第 1 会議室

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 議 事

- (1) 議事録署名委員の選任について
- (2) 平成 23 年度市単独運行バスの利用状況および平成 24 年度市単独運行バスの概要について
- (3) 平成 22 年度 決算の認定について
- (4) 今後のスケジュール

### 3. 閉 会

午後 2 時 30 分開会

○事務局 小玉総務企画課長（事務局長）

お疲れ様でございます。ただいまから、第 1 回男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を開催いたします。それでは、最初にこのたび、新たに委員になられました皆様をご紹介します。

東北運輸局秋田運輸支局首席運輸企画専門官の佐々木様でございます。

佐々木でございます。どうぞよろしくお願いします。

男鹿警察署地域兼交通課長の三浦様でございます。

本日は代理で佐藤と申します。代理出席しております。よろしくお願いします。

男鹿市商工会事務局の畠山様でございます。

畠山です。よろしくお願いします。

男鹿中振興会会長の大高様でございます。

大高でございます。よろしくお願いします。

男鹿市 P T A 連合会の鎌田様でございます。

鎌田です。よろしくお願いします。

秋田県建設交通部建設交通政策課政策監の菅生様でございます。

代理で山田と申します。よろしくお願いします。

秋田地域振興局建設部企画調査課長の齊藤様でございます。

代理の宇佐美と言います。よろしくお願いします。

東日本旅客鉄道株式会社秋田支店の中村様は本日欠席しております。

新任の委員の皆様の委嘱状はお手元にご配布させていただいております。交付式に代えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

次に、事務局そして職員の紹介をさせていただきます。

男鹿市総務企画部の佐藤部長でございます。

佐藤です。よろしくお願いします。

産業建設部建設課の渡辺課長でございます。

渡辺です。よろしくお願いします。

総務企画課の吉田補佐でございます。

吉田です。よろしくお願いします。

そして、渡部主事でございます。

渡部です。よろしくお願いします。

私は総務企画部総務企画課長の小玉です。よろしくお願いいたします。

本日の総会は、お手元の次第により進めさせていただきます。議事進行につきましては、会議規則により会長が努めることとなっておりますので、木村会長よりお願いいたします。

○木村会長

本日は、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日は、23年度、第1回ということでござしまして、平成23年度市単独運行バスの利用状況および平成24年度市単独運行バスの概要について、平成22年度決算の認定についてなど3つの議題を用意しております。皆様の活発なご発言を期待しておりますのでよろしくお願いします。

はじめに、次第2の(1)の議事録署名委員の選任についてお諮りいたします。協議会規約第20条第3項により2名の議事録署名委員を選任することとなっております。選任方法について、いかがいたしましょうか。

～事務局一任の声あり～

事務局一任の声がありましたが、よろしいでしょうか。

～多数の賛同の声～

○事務局 小玉総務企画課長（事務局長）

それでは、事務局からご提案申し上げます。五里合振興会の佐々木委員と男鹿市PTA連合会の鎌田委員を推薦いたしたいと存じます。よろしくをお願いします。

○木村会長

事務局より佐々木委員と鎌田委員を推薦する声がありましたので、ここでお諮りいたします。両名を議事録署名委員とすることにご異議ございませんか。

～多数の異議なしの声～

異議がないようですので、議事録署名委員は、佐々木委員と鎌田委員に決定いたしました。よろしくお願いいたします。

それでは次に、(2)の「平成23年度市単独運行バスの利用状況および平成24年度市単独運行バスの概要について」を事務局から説明願います。

○事務局 吉田課長補佐

平成23年度市単独運行バスの利用状況および平成24年度市単独運行バスの概要につきまして、ご説明をいたします。恐れ入りますが座って進めさせていただきます。ご了承ください。

1 ページ目の資料1をお願いいたします。

こちらは、市単独運行バスの運行状況とその課題、及び平成24年度運行路線の概要をまとめた表でございます。表の左側から、路線名、運行状況、課題、一番右側が、平成24年

度の予定運行形態を記載してございます。まず一番上の男鹿中線につきましては、現在、浜間口中町から羽立駅前までの経路を運行いたしてございます。上りの便は、定時定路路線、定まった時間に運行する形態でございますが、その形態で、ジャンボタクシーを運行しております。下り便は、すべて予約式の運行で、小型タクシーが運行されております。現在、運行を委託している事業者は、秋田観光バスであります。昨年、市の単独運行バス路線として、委託運行しておりますが、特に大きな問題はなく順調に利用されております。今年度平成 23 年 4 月よりは、下り便はデマンド方式ということで、予約して運行する形態に変更してございます。この路線につきましては、来年度も現在と同じ形態での運行を予定してございます。

次の段は、五里合線の路線でございます。五里合線の路線は、中石から脇本駅までの経路でございます。脇本駅におきまして、JR 男鹿線や、秋田中央交通が運行する路線バスと連絡して運行されます。中石から脇本駅間を運行委託している事業者は、秋田中央トランスポート株式会社であります。車両は大型バスで運行をしてございます。この路線も、昨年度から委託運行しておりますが、脇本第二小学校区の児童の通学バスとして利用されており、登下校時間帯の配慮や、子供たちの安全面に対する配慮が課題となっております。1 年間、実証運行いたしておりますが、大きな問題もなく順調に運行されてございます。このあと、利用実績につきましてもご紹介いたしますが、利用される時間帯に偏りがあるという傾向がひとつの課題となっております。こちらの路線につきましても、来年度も同じ形態で運行するという予定となっております。

次の段でございますが、潟西北部線でございます。この路線も、昨年から委託運行をしてございます。下五明光から若美総合支所までの経路を運行してございます。若美総合支所より南は、秋田中央交通が潟西線として運行をしてございます。こちらの路線を現在運行している事業者は、秋田観光バス株式会社でございます。運行している車両は、マイクロバスとジャンボタクシーであります。昨年の委託運行につきましては、中央交通がバスの乗継がないような形態で大型バスを運行しておりましたが、利用実績が非常に低い利用実績でございましたために、本年 4 月 1 日よりジャンボタクシーとマイクロバスの運行という形に変更してございます。しかしながら、やはり利用が非常に低いということがございまして、来年度 4 月からは、予約のデマンド方式の運行を予定してございます。

次の段の入道崎線の路線でございます。入道崎線は入道崎から、北磯を経由して、湯元駐在所までの経路であります。この路線につきましては、今年 4 月から委託運行をしてございます。湯元駐在所におきまして、秋田中央交通株式会社が運行する男鹿北線のバスと連絡をするため、船川方面に行く場合には、ここで乗り継ぎが必要となります。こちらの路線を運行している事業者は秋田観光バス株式会社であり、車両はジャンボタクシーでございます。時間帯によって利用の偏りが見られますが、全体的に低密な乗車実態でございます。利用されている時間帯が限定されているというところから、来年 4 月 1 日は、同じ車両での、デマンド方式を検討してございます。

その下の段の戸賀線でございますが、戸賀線は湯元駐在所から男鹿水族館までの間を市の単独運行バスが運行しております。車両は、秋田中央交通のバスで、秋田中央交通に運行を委託しております。こちら、バスからバスへの乗換えがないように湯元駐在所から水族館までの区間を、秋田中央交通のバスを降りることなく利用できるようにしております。湯元駐在所の前で、いったん料金を精算して、降りることなく利用する形態をとっております。しかしながら全体的にやはり、利用は低いということでございます。また、観光客が利用するケースが中々少ないという利用実態もありますので、こちら、来年4月から、デマンド方式での運行を検討しております。

その下の段でございますが加茂線の路線でございます。加茂線につきましては、加茂から桜島を経由して、男鹿水族館までの経路を運行しております。こちらの路線は、今年四月から委託運行をしており、運行している事業者は、秋田観光バス株式会社であります。運行車両は、小型のタクシーでございます。船川方面に加茂から行く場合は、男鹿水族館で乗換えが必要ということになります。また、湯元駐在所でさらにいったんお金だけを清算していただいて、引き続き乗っていただいて、船川で清算、こういう風な利用形態をしております。先ほどの戸賀線がマイクロバス・ジャンボタクシーでのデマンドということでございますので、こちらの戸賀と加茂線をひとつの大きな路線という考え方にして、利用者の利便性を向上させて、なるべく乗換えをする回数を少なくしたいという風に考えてございます。

その下の安全寺線でございます。こちらは安全寺上町から北浦出張所までの経路を運行しております。この路線も今年4月から委託運行をしてございまして、委託運行をしている事業者は、秋田観光バス株式会社でございます。運行をしている車両は、マイクロバスとジャンボタクシーでございます。こちらの路線も小・中学生の通学用として利用されておるため、学校の始業時間等に極力配慮したダイヤということになってございます。こちらの形態も、こちらの安全寺線は現在の実証運行の形態と変更なく来年も運行したいと考えてございます。

引き続き、資料2ページをお願いいたします。こちらの資料は、現在の市の単独運行バスの平成23年の4月と5月の2ヶ月分の乗車実績を整理したものでございます。先ほどの24年度の運行形態を考えた、基礎的な資料ということであるということでもあります。表の見方といたしましては、例えば、男鹿中線の乗車実績を見て参りますと、各線、上りと下りに分かれてございます。そして、主要なバス停留所の通過時間を記載してございまして、その右側に行きますと、2ヶ月分の乗降者実績が書かれてございます。男鹿中線で行きますと、乗降者が102名いたというふうな形であります。これを1便あたりに換算いたしますと、2.6名大体2人半乗っているということでございます。乗車便数、空車便数というのは、乗車便数とは誰かが乗っている便であるということです。空車便数というのは、誰も乗らなかった数というかたちで表を作っております。こちらを見ますと、男鹿中線に関



しては、朝 1 便でございますが、ほとんどの便に乗っているということで、非常に効率良く運行されているということがわかるかと思えます。下りの便は、すべてデマンド便ということでございまして、乗降客は非常に少ない便もございますが、空で走る車はないと、こういう実績であります。

その下の五里合線の乗降実績をお願いいたします。表の見方は先ほどと同じでございます。これを観ますと、やはり朝の便、上りの中石発 7:23 分の便が乗降 700 ということで、一便当たり 11,5 名と、非常に多い便であると、こういうことになります。こちらは先ほどもお話いたしました、脇本第二小学校区の児童が、こちらの便を利用しておられる、ということで、値が非常に高いということになってございます。下りの便でございますが、やはり時間帯によって空車の便が多いというところも目だっております。しかしながら、公共交通という立場から考えてみますと、極端であれば別なのですが、いろんな時間帯に合わせるというのが大前提であろうかと考えてございます。昨年度、五里合線につきましては、極端に少ない便、3 便を減便をしてございますので、残っている便は比較的多い便ということになってございます。昨年と同じ時期と比較してみますと、五里合線の場合は、やはり利用が少し上向きかけている傾向が見られてございます。

3 ページ、お願いいたします。上の段でございますが、潟西北部線の乗車実績ということでございます。こちらの路線につきましては、やはり全体的に低密であるということでございまして、一番低いのは下りの便、若美総合支所から下五明光に向かう便が、非常に少ないということでございます。また時間帯によっては、下五明光から若美総合支所に来る便、こちらが空車が非常に多い、という実績になってございます。朝の 7:32 下五明光発若美総合支所 8:00 着の便は 594 名となっております。こちらの便は、野石小学校に通学している児童が、朝利用しているということでございまして、やはり、通学距離がありますので、年間を通じて、通っておられる児童がいらっしゃるという実績となっております。しかしながら帰りが遅いということは、やはり親御さんが迎えになってこられるというケースが多いというのは学校の先生に確認してございます。時間帯によって空車が非常に目立つという観点からして、デマンドということを検討してございます。

その下の段でございますが、入道崎線の乗車実績でございます。こちら全体的に少ない乗降客ということで、大体の傾向から行きますと、利用される便というのが大体特定できます。こちらで行きますと、朝入道崎を 7:11 に発車する便こちらが 118 と、一番多い数でございます。そして下り便は、湯元駐在所を 13:09 に出る便、こちらが 135 ということで、傾向から行きますと、病院に通院されておられる方が主であると思われれます。こちらの方も利用される時間帯が限定される観点から、デマンド便を検討しております。

4 ページをお願いいたします。上の段は、加茂線の乗車実績ということでございます。こちらを運行しておりますのが、小型タクシーでございまして、やはり利用される時間帯が限られている状態でございます。先ほどの男鹿中線と同じでデマンド便でございまして、空車で走るということはございません。下りの水族館から 9:18 というのは 2 ヶ月間の中で

乗車された方はいなかった、そして次の 10:12 水族館発の便につきましては、2 ヶ月間で一人と、いう結果にはなっていますが、空車はないということでございます。

その下の段でございますが、戸賀線でございます。こちらは、中央交通の大型バスが委託運行している状態でございます。こちらに加茂線と非常に同じような利用実態ということでございまして、朝の水族館 7:07, 8:06 に利用が偏っている状況であります。一便あたりにしますと、2~3 人ということでもあります。下りのほうも、湯元駐在所 13:09, 15:44 発に利用が偏っている、非常に利用形態が加茂線と類似しているということでございまして、同じ時間帯をご利用される方が多いという観点と、乗り継ぎを極力小さくしたいということでこちらを一緒にしたいという風に思っておるところでございます。

5 ページをお願いいたします。こちらは安全寺線の乗車実績表であります。こちらを運行しているのは、マイクロバスとジャンボタクシーでございます。利用している実態から言えますのが、やはり北陽小学校、男鹿北中学校の通学に利用されている時間帯が大きいということでございます。朝の 7:16 安全寺上丁発、こちらを 526 名と、ということで、1 便当たり 9 名ぐらいの乗車があります。そして下りの便であれば、北浦市民センター 16:20 の便こちらが 146 名と、4 名ほどの乗車ということでもあります。安全寺線につきましては、利用実績を踏まえまして、現在と同じ形態で運行させていただきたい、と考えております。

次のページをお願いいたします。こちらは秋田中央交通が運行しております路線の乗降を 4 月の 18 から 24 日まで、1 週間をこちらで調査を中央交通さんをお願いをしております。平成 21 年 3 月に策定いたしました、公共交通連携計画の中に位置づけされている幹線部分という状況でございまして、毎年少しずつ把握をするために中央交通さんをお願いして、実績ということで調査をさせていただいております。

6 ページなのですが、男鹿北線の状態であります。表は先ほどの表と同じような形で整理をさせていただいております。こちらの状況は空車がほとんどなくて非常にご利用いただいている路線ということでありまして、去年も地域の説明会に行ったときにはこの北線はぜひ存続していただきたいという住民のご意見を方々でいただいております。この実績を見ますと、まずまず利用いただいていると思われま。

右のページでございますが、こちらは潟西線の乗車実績でございまして、若美総合支所から船越駅までの路線でございます。こちらは乗降が大きい数字を示しております時間帯は、7:27 若美総合支所発の便が大きくでておりますが、こちらは男鹿東中学校に通学する生徒の影響であります。他の時間帯は非常に低密な状況でございます。空車というものも、朝の時間帯ではあります。

次のページをお願いいたします。こちらは路線といたしましては、船越駅から、みなと病院からの状態で運行しております。脇本駅で五里合線の乗降客と一緒に乗せて走る状態ではあるのですが、乗降数としては少し低いというところでもあります。これは一週間の乗降でありますので、朝の時間はやはり大きな数字でございまして、日中、夕方となると少し低いということでございます。

右のほう、お願いいたします。こちらは男鹿南線の実績でございます。路線経路といたしましては、門前からみなと病院までの経路でございますが、こちらの路線につきましては、小中学校の生徒の通学の足ということでお願いしているところがございます。また朝の便で行きますと、男鹿海洋高校に通われている生徒さんもお使いになっておられますので、通学時間帯を取ってみても、乗降状況はいい状況であると考えられております。幹線部分の乗降につきましては以上でございます。以上を持ちまして、説明を終了いたします。よろしくお願いいたします。

○木村会長

はい、ありがとうございました。

「平成 23 年度市単独運行バスの利用状況および平成 24 年度市単独運行バスの概要について」は、事務局から説明がありましたが、質問や意見はございませんでしょうか。

○大渕委員

来年度からデマンドの関係がかなり増えてきますが、私はあまり利用したことがないのでわかりませんが、バスを乗るたびに注文するということで、そのたびに会社に連絡をつけるということで、どのくらい前に運営会社に連絡しなければならないのかということと、周知方法はどのようなものをとっているのでしょうか。

○事務局 吉田課長補佐

ご質問にお答えいたします。デマンド方式でございますが、どれくらい前の予約で対応しているかという点でございますが、原則として、1 時間前までということで、お願いをしております。周知の方法ですが、昨年度の例から行きますと、市の広報に載せました。それと地元の説明会、こちらを加茂の場合は 2 回ほどの説明をしております。そして、ここを運行している事業者さんにお年寄りでもわかるような名刺サイズのカードを作っていたきまして、その裏には大きく会社の電話番号が書かれております。それらを用意した上でデマンドに踏み切ったのですが、やはり心配ではあったのですが、このデマンドに関する苦情はたった 1 件もなかったということでありまして、周知方法が良かったのかそれとも利用する人が少なかったためになかったのかわかりませんが、一応、いったん乗ったお客さんには必ずカードや周知するものを渡して、病院で電話をかけられない人には、病院の方から連絡先を教えていただくようお願いしたり、帰る人には帰りの便をあらかじめ運転手さんに伝えてもよいことにしており、比較的、こちらで心配しているような大きな混乱はないということです。来年度以降、デマンド便に切り替えるところにおきましては、やはり説明会と、広報の周知と、請け負った事業者に対する準備を徹底すれば、大きな混乱はないと思われます。以上でございます。

○大渕委員

カードの関係のところ少し聞こえなかったのですが、どのくらいの大きさなのですか。

○事務局 吉田課長補佐

名刺と同じ大きさのカードで、この中にお年寄りでもわかるように電話番号を書いて、

裏にはダイヤ、便数、時刻表が書かれたカードがあります。

○大淵委員

どのように配布しているのですか。

○吉田課長補佐

乗ったお客さんに配布するようにしております。

○大淵委員

実際効果があるかわかりませんが、広報は自分に関係あるところでなければ、私としては読まないと思います。資料やカードを配るのであれば、老人クラブを通してやるなど、施策を考えていただければ少しでも PR につながり利便を図れるのではないのでしょうか。

○事務局 小玉総務企画課長（事務局長）

ただいまのご指摘につきましては、市といたしましても前向きに検討させていただきまして、親切丁寧に対応させていただきたいと存じますので、よろしくお願いします。

○木村会長

他に意見はございますか。

○仲村委員

1 ページ目の 23 年度の運行状況と課題ということですが、24 年度の運行状況を決めるということで、本年度がまだ 3 ヶ月そこそこしか経過していない状況で、現状と課題を報告し、来年度の運行案を決めるには、利用者からすれば、時期尚早ではないのでしょうか。先ほどの申された説明会や運行会社の準備があるようですが、利用者のことを考えれば、10 月くらいから考え始めても良いのではないのでしょうか。

○事務局 吉田課長補佐

ご質問に答えさせていただきます。やはり運行実績のデータが積み重なっての対策ということが一番のところだと思われます。しかしながら今のところ苦情を集めまして運行状況も踏まえまして、バス運行は 1 年契約ということになっております。この契約をするに当たりましては、第 2 回の総会までに運行形態の大体のところを固めたいと予定してございまして、今回はたたき台ということとと考えてございます。確かに、震災もあり、観光客の足は遠のいているという側面もございますし、利用ということになりますと、季節を通しての変動もあるわけでございます。それらを踏まえまして、もう少し様子を見てそうしたうえで検討した上で地域の説明会等に移っていきたいと考えております。

○仲村委員

そのことはわかりますが、しかし運行状況を少なくとも半年くらい見るとか、そういうふうにして課題を見つけ 24 年度の運行形態を決めるのはわかるのですが、まだ本年度が 3 ヶ月と少ししか経過していない時点で状況と課題を決めているように感じます。そのあたりを検討していただきたいと思います。

○事務局 吉田課長補佐

最終的な案は、11 月の総会のときに固まった案をご提出させていただきたいと考えてお

りまして、今お出ししているのはたたき台というかたちで、こういったものがなければ進められないという観点でお出ししておりますので、よろしくお願いいたします。

○木村会長

そのほかご質問やご意見はございませんか。

○柴田委員

中央交通労組の柴田ですけど、このデータを出していただくにあたってお願いなのですが、たとえばデマンド運行の部分、デマンドなので空車便数は 0 なわけですが、男鹿中線の最終便は 2 ヶ月間で 2 回だけの運行と考えてよいわけですね。

○事務局 吉田課長補佐

はい。

○柴田委員

そうすると、例えばこの便が 2 ヶ月間で 1 日しか運行していない中で乗降数が 3 であれば 1 便あたりは 3 になるわけですね。デマンド運行の部分で数字を出してもらうとすれば、この 2 ヶ月間の中でダイヤを何日間運行したかという乗車率みたいなものを出してもらわないとわかりにくいところがあるのではないのでしょうか。

○事務局 吉田課長補佐

ご指摘のとおりでございまして、これだけだと分かりにくい面があるかと思しますので今後、気をつけていきたいと考えております。

○木村会長

そのほか。

○佐々木委員

今の質問に若干関係しているのですが、1 便あたりの乗車人数について、乗降数を乗車便数で割ったものだと考えておりますが、数字に間違いがあるのではないですか。たとえば、2 ページの乗車実績表の五里合線の下りの脇本駅 9:34 発の線、乗降数 62 を乗車便数 36 で割ると、2 に近くなると思うのですが、計算方法が違いますか。

○事務局 渡部主事

こちらに関しては、乗車便数と空車便数を足した数字で乗降数を割っており、2 ヶ月間で 61 日、おおよそ 1,0 ということで記載しております。

○佐々木委員

わかりました。

○木村会長

そのほかございますか。

○木村会長

デマンドは苦情がないということでしたが、先ほどの広報の関係で、本当は需要がもっとありそうとか、あるいは出尽くしたとか、この先デマンドについて考えていくうえでそういった感触はありますか。

○事務局 吉田課長補佐

デマンド便を配置するにあたってこちらで心配している点なのですが、生活路線として考えた場合は、地元の方たちの足としての位置づけで今の状態の延長線でよいと思います。例えば突発的な観光客さんがお見えになったりとか、予測しないような利用があった場合、ちょっともう一ひねりして考えないといけないと考えております。市の方ではワンコインバスなども違うセクションですが行っており、観光という面では、切り離して考えていったほうが観光客さんの利便性を考えた場合には自然かな、というところがあります。とは言っても公共交通でございますので、観光客さんからの問い合わせも何件ありました。そのときにデマンドでなかった便について、デマンドになるんですか、という問い合わせは2つくらいいただいております。そこについてはこちらでも工夫が必要であると感じております。以上でございます。

○木村会長

私が質問したのは、広報の関係や、手続きが面倒で、本当は乗りたいのだけれども乗れないような人がいたのではないかな。もしかしたらわからないのかもませんがその辺の感触はあるのかということが一つと、たとえばデマンドをやる場合に例えば無償で乗ること、試乗会みたいなものをこの先検討しているのでしょうか。

○事務局 吉田課長補佐

手続きが面倒で乗らないという方がどのくらいいるのかということは、実際に説明会に直接行ってみてお話を聞いてみないことにはわからないということでございます。去年から今年にかけてデマンドになったのは加茂線でございますので、加茂に行ったときにはよくお話を聞いてきたいと考えております。男鹿中線につきましては、過去にデマンドにすでになっているのですが、潜在的な乗らない人については、町内会長さんに集まっていたいただきましたが、ありませんでした。地域によっても違うかもしれませんし、実態は直接地域に行ってみてみたいと考えております。試乗会については、現在は予定はございませんが、この後考えていきたいと考えております。よろしくお願いします。

○木村会長

そのほかご質問はありますでしょうか。

○石垣委員

安全寺線について観光客の方が、中央交通の運転手から温浴ランドへの行き方を聞いたところ、北浦市民センター前にて安全寺線への乗換えを案内されたが、バスが来なかったということがありました。

基幹路線の運転手さんの路線接続についての案内の仕方について、間違いの起こらないようにするにはどうしたらよいのでしょうか。

○事務局 吉田課長補佐

4月当初にそのようなことがあったということを間接的に聞いております。運行経験の浅い事業者さん我々も公共交通に携わることは初めてですので、それ以降は苦情はおそらく

なかったとおもわれますので、十分気をつけますのでよろしくお願いいたします。連絡がやはり中央交通さんとの時間の関係がありますので、待って出るということにでも注意して行いますので、よろしくお願いします。

○児玉委員

中央交通ですけれども、基幹バスのドライバーの説明が不足などがありましたけれども、私のほうでは男鹿地区の全路線の時刻表を作って、業者に印刷を頼んでかなりの部数を各ダイヤに載せているはずなので、利用客には渡しているはずなのですが、我々としても独自にお金をかけて案内には勤めておりますので、よろしくご配慮のほどお願いします。

○木村会長

ありがとうございました。

○石垣委員

時刻表は駅の観光案内所にもたくさんあり、大変便利だと思います。

○児玉委員

駅前の案内所の方にも、そのつど不足になれば補充するようにはしています。

○石垣委員

観光地の旅館等には配布していますか。

○児玉委員

温泉施設のほうには、男鹿営業所のほうに連絡があれば渡すようにはしています。

○石垣委員

できればそういったところに配ってあげれば、お客さんの利便もいいし、ハイヤーかタクシーかお客さんの選択に任せるとそれでよいと思うし、その当たりをもう少し突っ込んでいただければよいと思います。

○児玉委員

はい、わかりました。

○木村会長

いろんな方面から、資料とか、こういった情報交換を経て、いろんな形で結びついていけばよいのかと考えております。

そのほかご意見等はございませんでしょうか。

それでは、ご意見がなければ「平成 23 年度市単独運行バスの利用状況と、24 年度については今のところ草案ということで、もう少し様子を見てということでしたので、24 年度の運行バスのダイヤについては、これからを見て鋭意検討していくということでございましたが、ただいまの案で認定してよいかお諮りいたします。ご異議ございませんでしょうか。

～異議なしの声あり～

ご異議がないようですので、「平成 23 年度市単独運行バスの利用状況および平成 24 年度

市単独運行バスの概要について」は、この案で認定いたしました。

次に、(3)の平成 22 年度決算の認定について、事務局から説明よろしいでしょうか。

○事務局 吉田課長補佐

平成 22 年度の決算の認定についてご説明いたします。10 ページ、資料 3 をお願いいたします。こちらは平成 22 年度男鹿市地域公共交通活性化協議会の決算書でございます。収入の部から参ります。

1 款の負担金は男鹿市の負担金で 50 万円でございます。2 款は補助金はありません。3 款の繰越金でございますが、昨年度からの繰越が 240,926 円でございます。4 款の諸収入は、預金利息でございます。84 円でございます。

予算額 640,000 円に対しまして決算額が 741,010 円あっております。

下の段でございますが、支出の部でございます。一款運営費の会議費は決算額 499,756 円となっております。内訳といたしましては、報償費が 340,000 円、こちらの報償費は総会と幹事会の出席報償費となっております。旅費は 61,420 円、こちらは同じく総会と幹事会の費用弁償であります。同じく需用費は、98,336 円これは会議にかかる資料等にかかる経費でございます。

事務費でございますが、決算額が 107,936 円でございます。需用費は 95,896 円でございます。こちらは広報掲載費あるいは広告等にかかる費用でございます。役務費の 12,040 円は切手等の郵送費ということでございます。支出の部の決算額が 607,692 円ということになってございます。歳入から歳出を引きました分 133,318 円は、次年度への繰越金ということでございます。よろしくお願いいたします。

○木村会長

事務局から平成 22 年度決算の認定について説明がありましたが、監事の畠山委員から監査報告をお願いいたします。

○畠山委員

それでは私のほうから監査報告をいたします。

6 月 15 日の男鹿市地域公共交通活性化協議会の平成 22 年度の会計執行状況を監査したところ、関係帳簿、通帳、現金とも適正に管理され予算執行されておりましたので、ご報告いたします。監査委員 畠山千萬城 以上です。

○木村会長

ありがとうございました。

ただいまの報告について、何か質問やご意見はございませんでしょうか。



それでは、平成 22 年度決算の認定については本案のとおり認定してよいとお諮りいたします。ご異議ございませんか。

～異議なしの声あり～

ご異議がないようですので、平成 22 年度決算の認定については本案のとおり認定されました。

それでは議事の(4)でございます。今後のスケジュールについて、事務局から説明願います。

○事務局 吉田課長補佐

それでは議事の 4 番の今後のスケジュールにつきましてご説明いたします。恐れいります、12 ページの資料 4 をお願いいたします。こちらは平成 23 年度のスケジュールということで記載してございます。4 月は実証運行の委託契約が締結し、今年は 7 路線が運航を開始しております。4 月の中旬に入りますと、市内バス路線の状況を調査をしております。これには幹線部分の乗降調査も合わせて実施をしております。7 月に入りますと、庁内検討会ということで、市役所の関係課長から集まっていただきまして、今回出されました案を検討していただいております。7 月の中旬は幹事会を開催してございます。7 月 12 日でございました。7 月の下旬が今回の総会ということでありまして。8 月には地域説明会ということで、変更となる路線を中心とした形で、実施したいと考えてございます。10 月に入りますと、観光路線を中心とした、説明会を開催したいと思います。これらの案を元にいたしまして、さらに修正を加えまして、10 月の庁内検討会に諮りまして、平成 24 年度の運行に関する準備をしていきたいと考えております。10 月の下旬には幹事会、11 月には総会を開催していただきまして、来年度の運行の形態を決めていきたいと考えてございます。1 月の中旬には、委託事業者が決定をいたします。それをもちまして、幹事会、総会を開催いたしまして、契約内容、受託した事業者、24 年度のスケジュールの件、これらを謀って参りたいと考えております。スケジュールについては、以上でございます。よろしくお願いいたします。

○木村会長

はい、ありがとうございました。

ただいま、事務局から今後のスケジュールについて説明がありましたが、ご質問やご意見はございませんでしょうか。

それでは、今後のスケジュールについて本案のとおり了承してよいとお諮りいたします。ご異議ございませんか。

～異議なしの声あり～

ご異議がないようですので、今後のスケジュールについては本案のとおり認定いたしました。ありがとうございました。

ほかに何かございませんでしょうか。

本日は様々なご意見をいただきましたが、それらを踏まえ、今後の事業を進めさせていただきたいと思います。

それでは、ここで議事を終了いたします。どうもありがとうございました。

午後 3 時 35 分閉会

会議の次第を記載し、これを相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成 2 3 年 8 月 3 1 日

会 長      木 村   一 裕

委 員      佐々木   一 義

委 員      鎌 田   力